

事務事業名	23200 園芸生産強化支援事業	予算科目	会計 一般 6 1 3	所管課	農水産課	担当班	振興班
基本施策	1 農水産業の振興	根拠法令	旭市補助金等交付規則	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input checked="" type="checkbox"/> 主要事業		
施策の展開	1 農畜産物の生産振興	戦略事業	1 園芸生産強化支援事業				
施策の展開		戦略事業					

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
<input type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 26 年度～ 平成 29 年度まで	・園芸生産拡大支援事業(H26～H28)⇒耕作放棄地の解消に貢献する担い手農家等に対し、農業機械等の整備支援する。対象者：生産組織・団体等、認定農業者等 補助率(県単独)：1/3以内(0.2ha以上)、1/2以内(0.5ha以上)、2/3以内(1.0ha以上) ・園芸施設省エネルギー化推進事業(H26～H28)⇒燃油価格高騰の影響を受けにくい経営構造への転換を図るために必要な機械等の導入を支援する。対象者：生産組織・団体等、認定農業者等 補助率(県単独)：1/4以内(上限100万円) ・新「輝け！ちばの園芸」産地整備支援事業(H26～H29)⇒安定生産や品質向上を図るための生産施設や省力機械、集出荷施設の整備等を支援する。対象者：認定農業者等 補助率：県1/4以内・市1/20以内(個人利用)、県1/3以内・市1/15以内(共同利用)
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
【園芸生産拡大支援事業】同様の内容で平成23年度から実施されている。【園芸施設省エネルギー化推進事業】燃油高騰対策のため平成25年度に市単独で燃料費に対し補助が実施され、それに代わり平成26年度から現在の県単独事業が実施されている。【新「輝け！ちばの園芸」産地整備支援事業】「園芸産出額全国1位」を目指して平成18年度から同様の内容の事業が実施されている。	【園芸生産拡大支援事業】耕作放棄地の解消に費用がかかり負担感があるため申請が平成25年度に1件あったのみ。【園芸施設省エネルギー化推進事業】燃焼効率等の高い機械を導入できるため毎年、申請者はいるが、燃油価格が安定してきたため事業が継続されるか不明。【新「輝け！ちばの園芸」産地整備支援事業】市の上乗せ補助金を平成23年度(共同利用のみ)から開始し、現在に至る。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
園芸生産拡大支援事業については、特にない。園芸施設省エネルギー化推進事業及び新「輝け！ちばの園芸」産地整備支援事業は、事業実施者からは、継続を望む意見がある。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算) 単位：千円	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
1.負担金補助及び交付金 45,671(生産拡大0円、省エネ4,449千円、新「輝け」41,222千円)	71,823	60,632	87,179	45,671	220,794
② 特定財源の内訳(28年度の決算) 単位：千円					
1.国庫支出金 0					
2.都道府県支出金 38,807(生産拡大0円、省エネ4,449千円、新「輝け」34,358千円)					
3.地方債 0					
4.その他 0					

前年度増減理由	大規模な事業の申請者が減少したため。
---------	--------------------

従事職員数	常時 2人	最大 3人	× 21日 = 延べ 63人
-------	-------	-------	----------------

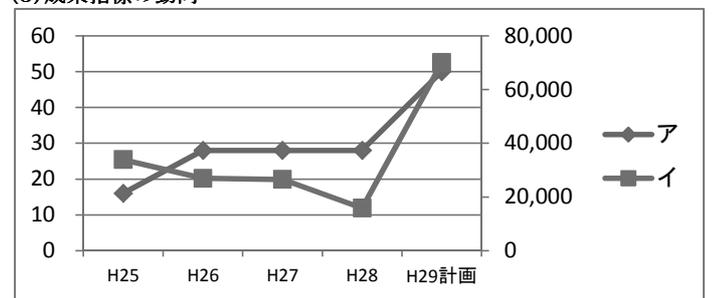
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) 事業の周知 事業要望のとりまとめ 補助金の交付		ア 申請件数	件	18	29	30	28	50
			イ 事業PR回数	回	1	1	1	1	1
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象 認定農業者、認定新規就農者・農業者が組織する団体(3戸以上)・農業生産法人等 意図 栽培規模が拡大する 図 生産性が向上する 対象 認定農業者、認定新規就農者・農業者が組織する団体(3戸以上)・農業生産法人等 意図 経営の効率化が図れる 図 経費が削減する		ア 補助金交付件数	件	16	28	28	28	50
			イ 施設整備面積(事業による規模拡大状況を確認)	m <sup>2</sup>	33,886	26,934	26,466	15,857	69,953

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	大きい	成果向上余地	コスト比率		
	普通	かなりある	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	小さい	ある程度ある	①	②	③
		ほとんどない	④⑤	⑥	⑦⑧
			⑨		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標のタイプ 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 成果指標イ 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下
【コメント】 (低下の場合、その理由)	小規模な事業の要望者が多かったため。
③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)	時期 年度内 内容 省エネルギー化推進事業が28年度で終了し、暖房機の導入は新「輝け！ちばの園芸」産地整備支援事業で引き継ぐ。その他前年度どおり実施。 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他( )
評価内容	比較 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度 25年度 26年度 27年度 28年度 29計画 ア Δ5 12 0 0 22 イ 8,596 Δ6,952 Δ468 Δ10,609 54,096
	県に要望書提出の際に、再度、要望者の事業実施に対する意向確認を徹底する。